

2010 年度報告書 (COE 教員)

氏 名	今田 絵里香
職 位	特定助教
<p>研究概要</p> <p>(1) 戦後日本の少女少女文化における異性愛文化導入とその論理について明らかにする</p> <p>①歴史研究班・コアプロジェクトの共同研究「戦後日本におけるセクシュアリティと親密性の再編」、②平成 22 年度科学研究費補助金 (若手研究 [B]) 「1945～70 年の少女少女雑誌文化における異性愛主義の拡大に関する研究」を実施し、戦後日本の少女少女文化における異性愛文化導入とその論理について明らかにしている。</p> <p>(i) 第 8～15 回研究会開催</p> <p>(ii) 特別セミナー開催 特別セミナー③三橋順子「東京の「赤線」——戦後日本の黙認買春地区」、加藤政洋「赤線時代における京都の〈雇仲居〉文化」(2 月)。</p> <p>(2) 戦前日本における少女少女の投書文化について明らかにする</p> <p>平成 22 年度科学研究費補助金 (基盤研究 [C]) 「近代日本における中学校・高等女学校の学校文化とジェンダー」(代表 小山静子) を共同研究者として実施し、戦前日本における少女少女の投書文化について明らかにしている。</p>	
<p>教育概要</p> <p>(1) 京都大学女性研究者支援センターと連携し、大学院生向けシンポジウムを開催する</p> <p>(i) 「シリーズ 私の仕事とキャリアデザイン③ 独法研究機関で働くということ」(6 月)</p> <p>(ii) 「シリーズ 私の仕事とキャリアデザイン④ 企業研究者とワーク・ライフ・バランス」(10 月)</p> <p>(2) 「ポケットゼミ ジェンダーと科学」「社会学購読」(京都大学)、「教育原理」「教育社会学」(立命館大学)、「臨床社会学特論」(関西学院大学)、「子どもの文化」(帝塚山大学)、「家族社会学」(京都学園大学) 講義の実施</p>	
<p>業績リスト (著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する)</p> <p>【論文】</p> <p>1. 「1945～70 年の少女雑誌とジェンダー」『京都大学 GCOE「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」ワーキングペーパー』第 50 号、京都大学、2012 年 4 月。</p> <p>【学会報告】</p> <p>1. 「男女共学と少女雑誌における異性愛表象」、単独報告、教育史学会第 55 回大会コロキウム 5 「男女別学から男女共学へ——セクシュアリティと男女交際——」、京都大学、2011 年 10 月。</p> <p>2. "The Image of Boys and Girls in Modern Japan and Korea" 2011 <i>International Conference "Imaging Asia through Cultural Production and Consumption"</i> ソウル大学 (韓国)、2011 年 11 月。</p>	

